

発行 社会福祉法人
福岡県社会福祉協議会
子育て支援事業推進室

〒816-0804
福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階
TEL 092-584-3785
FAX 092-584-3369
Email kosodate@fuku-shakyo.jp



子育てサロン ひなたぼっこ(志免町)で撮影



みんなが集う場所に

子育てサロンを始めるには、親子が気軽に集まれ、安全で安心して遊べる場所が必要になります。

そこで、本号では、公民館以外のいろんな場所で活動されているサロンを紹介しています。サロンの場所を提供されている方からは、「このサロンが、親子だけでなく、先輩ママ、おじいちゃん、おばあちゃんなど地域に住んでいるみんなが集まり、ホッとすると感じる場所になり、お互いの会話の中から生活の知恵を学んで欲しい。」との思いを語っていただきました。

もくじ

- 子育てサロンの知恵袋～活動場所編～ 2～3
- こども写真館..... 3
- 繋サポ NEWS(会員登録会) 4

子育てサロンが、地域の方から、昔からそこに伝わる郷土料理や生活の知恵を教えてもらいながら、地域のみんなが集い、お互いに学びあい、助け合う場所になるといいですね。

(子育て支援事業推進室)

子育てサロンの知恵袋

～活動場所編～



子育てサロンを始めるには、まず場所の確保が必要です。場所を選ぶにしても、子どもが走り回れるスペース、駐車場、安全性など様々な条件があります。

県内の多くの子育てサロンは公民館で活動されています。そこで、今回は活動場所に注目し、公民館以外で活動されているサロンを紹介します。

母と子のサロン ラクテア Lactea

母と子のサロン^{ラクテア}Lacteaは、昼間の居酒屋を利用して開催されています。代表の方が助産師さんで、母乳外来で親子と関わる中、親子が一緒にくつろげる場所が必要だと感じ、2年前に旦那さんが経営されている居酒屋でサロンを立ち上げられました。

当初は、居酒屋は「お酒を提供する場所」というイメージでお母さんたちに受け入れてもらえるか心配だったそうですが、広いお座敷で、子どもたちも裸足で走り回れるので、お母さんたちに好評だそうです。お酒のピンなどがあるので、安全性を考慮し活動されています。

しかし、居酒屋など、場所を提供していただける方をどのようにして確保するのか難しい一面があります。



ひなたぼっこ (志免町)



ひなたぼっこは、教会のコミュニティ室を借りて、開催されています。教会で開催されていますが、宗教に関わりがないことをモットーにされています。保育士さん2名と牧師さんがスタッフとなり一緒に活動されています。

教会は、公民館や公共の施設以外にもサロンを増やし、お母さんたちがここだったらホッとできると思える場所にしたいと思い、協力されているそうです。ここは、公民館で開催されているサロンとは違い、親子だけでなく高齢者や近隣の方も参加し、親子や地域の方が顔見知りになる場所になっています。

しかし、教会で開催されているので、宗教と関係があると思われるのがちなため、周知が難しく、参加者の広がりが課題になっています。

エバーライフ親子ルーム (柏屋町)

エバーライフ親子ルームは、102世帯のマンションの集会所で開催されています。役場にお母さんから集会所でサロンをしたいが、やり方が分からないと相談があり、役場の方がボランティアグループの子育て応援団に声をかけられました。お母さんたちは子育て応援団の協力のもと、管理組合やマンションの住人にも理解を得られました。

一般的にはマンションでは、子育て世代の方々の交流が少ないとの課題が多いのですが、このマンションでは、サロンがここに住んでいる親子の交流の場所になっていて、お母さん同士でお互いの子どもを預かったり、お母さんたちの信頼関係が生まれていました。

マンションの集会所で開催しているため、参加の対象がマンションの住人に限定され、地域への広がりが課題となっています。



開催場所に必要なこと

- サロンは子どもが遊ぶ場所として安全で快適な環境が必要であり、子どもが跳んだり走ったり、大きな声を出しても気にならない場所であることが求められます。子育て中のお母さんたちは、歩いて行ける距離だったり、少々遠くても駐車場が広いと、気軽に参加しやすいようでした。
- また、公的な施設以外の居酒屋や個人宅などで開催する場合は、場所を提供される方が無理をしないことや負担を感じないことが重要です。



特色を活かした活動

- 県内には、今回紹介した3つのサロン以外にも学校の一室、学童保育の部屋、廃園になった幼稚園を利用して開催されているサロンがあります。
 - 小学校の一室で活動されているサロンでは、小学生が休憩時間にサロンに遊びに来て、小学生と子どもの交流の場所にもなっていました。また、校内でサロンを卒業した小学生にスタッフが声をかけたり、サロンを卒業した小学生の方からサロンに顔をみせたりと、サロンを卒業した後もスタッフと子どもの関係、交流が続いていました。
- このように、その場所ごとに特色を見つけ、活動に結び付けていくことが大切です。

信頼関係を大切に

- 今回紹介した3つのサロンは、会場を借りるときには、場所を提供される方にサロンへの思いや親子の気持ちを理解してもらっていました。そして、その場所を使うときの約束事を決めて活動することで、場所を提供される方の安心感につながっていました。
- どのサロンも、お母さんたちは、「この場所は自分たちだけではなく、みんなが使う場所。」という意識を持ちながら利用されていて、会場を利用した後は利用する前の状態に戻して会場を後にされていました。このように、会場を借りるときは、会場を提供される方への感謝の気持ちを持って利用し、お互いに信頼関係を築くことが大切です。



サロンは公民館で開催しないといけないということはありません。公民館に限らず、お母さん自身が集まりやすく、子どもが安心して遊べる場所が一番です。サロンの開催場所で悩んでいるお母さん、地域に目を向けてみてください。身近に集まれる場所がきっとあるはずですよ。



こども写真館



楽しい夏がやってきた！みんなで遊ぼう！





会員登録会

福岡県社会福祉協議会では、お父さん、お母さんの仕事と子育ての両立を支援するため、**病児・緊急預かり対応基盤整備事業**に取り組んでいます。

この事業は、病気で集団保育になじまない子どもの預かりや急な残業・出張などでの宿泊を含む子どもの預かりなど、緊急時に対応するもので、大野城市・太宰府市・春日市・筑紫野市・那珂川町を対象地区としています。

6月に春日市、筑紫野市、太宰府市で依頼会員（子育てのお手伝いをして欲しい方）の登録会を開催したくさんの方に本事業に登録いただきました。

病児・緊急預かりも含めたファミリー・サポート・センター事業への移行に向けて最終年度となる今年度は、事業実施地区の行政、ファミリー・サポート・センターなど関係機関との話し合いを重ね、22年度以降も安心して仕事と子育ての両立ができる環境作りに取り組めます。



依頼会員の登録会では、依頼会員とコーディネーターが子どもの状況、依頼内容など、詳細な打合せをし、緊急時の依頼に備えます。



打合せでは、ファミリー・サポート・センター事業、病児保育施設などの紹介も行っています。

現在の会員数 513人 (6月末日現在)

依頼会員408人 援助会員90人 両方会員15人

ふくおか緊急サポートセンター(本部)

福岡県社会福祉協議会 子育て支援事業推進室

TEL 092-584-3785 (担当 平本・大倉)



この情報誌は、共同募金の配分金を受けて発行しています。



大募集!

「いくすく」に関するご意見・ご要望、子育てサロン等への取材依頼、子育てに関する様々なエピソードをお寄せください。皆さんの声をお待ちしています。

(子育て支援事業推進室)



七月七日は七夕でしたね。たくさんサロンので、子どもたちの願い事が書かれた短冊が飾られていたことだと思います。私も、あるサロンの七夕会に伺い、子どもたちと一緒に短冊に願い事を書いて結んでみました。字がまだ書けない子どもたちは絵を書いたり、お母さんと一緒に書いていた事を書いていました。

ある一人の女の子の短冊に「弟と一緒に遊べますように。」と書いてありました。お母さんに尋ねると、その子の弟は少し体が弱く病院に通っているそうです。お家では、お母さんを独占したい気持ちで我慢して、いつも弟のことを気にかける優しいお姉ちゃんだそうです。お母さんは、「月一回のこのサロンの時だけは、下の子を母に預けて、上の子と二人で参加しています。サロンの二時間は二人だけの大切な時間です。」と話してくださいました。そんな女の子が書いた願い事は、やっぱり大好きな弟のことでした。この時はばかりはと、お母さんに甘えながら楽しそうに願い事を書いてきた姿が忘れられません。大好きな弟のことを思いながら一生懸命書いた願い事きつと叶うよ。子どもたちと触れ合う中で、私たち大人が子どもたちから教えられることがたくさんあります。七夕会に参加して、女の子から家族を大切に思う優しい心、家族の絆の強さを教えてもらった気がします。

(いりせい)